

特42

459

角田川

東 京 圖 書 館				
一 〇	一 七	四 七	音 樂	和 書 門
冊	號	架	函	類











りて彼おねと侍りてさくらサシ花女  
入り親の心もさくら花もさくら花も思ト  
道はまじりて今も花もさくら花も思ト  
道行人もさくら花もさくら花も思ト  
後まきくさくら花もさくら花も思ト  
北ト松よ青すもさくら花もさくら花も思ト  
乃露のよもさくら花もさくら花も思ト

世ト是ハ朝も白くも年経くともさくら花ト  
か思のけりもさくら花もさくら花も思ト  
つわて行急ぐもさくら花もさくら花も思ト  
國をまじりて今も花もさくら花も思ト  
心もさくら花もさくら花もさくら花も思ト  
事してまじりて今も花もさくら花も思ト  
心もさくら花もさくら花もさくら花も思ト



かりあるちしん申のウガク其うらたをたよ  
係もさして愛おむこよ親と子の四身  
しあひまきこもて事おもひたててむら  
武蔵の國がまじはる中よある隅田  
河まきしむらむさうく  
我どもおもむおのまきして珍り久  
きしんふくふん下る人う  
是き

都ト 都ト 都ト 都ト 都ト 都ト 都ト 都ト 都ト 都ト  
おより人をも事して下後者あきく  
ゆくとしおんくしん白飯くまみ  
勢久程うのんや母よのまきしむらむ  
女  
言あ母よのまきしむらむまきしむらむ  
乃とくも勢の者と母よのまきしむらむ  
るまきしむらむのまきしむらむ守たごほまぬ



事コトが宣ノボひツくヲ 中 ノ 勢セウのノ人ヒト

くニあリけレばシ 女 ノ 河 ノ 水 ノ 流 ル ノ 方 ニ

其言コトをシてハ 中 ノ 勢セウのノ人ヒト

彼カ業ノ平ヘイもモ 中 ノ 勢セウのノ人ヒト

いハ事コトとシてハ 中 ノ 勢セウのノ人ヒト

屋ヤあリけレばシ 中 ノ 勢セウのノ人ヒト

けレたリ 中 ノ 勢セウのノ人ヒト

とシてハ 中 ノ 勢セウのノ人ヒト

司シとシてハ 中 ノ 勢セウのノ人ヒト

らシ 中 ノ 勢セウのノ人ヒト

都ツとシてハ 中 ノ 勢セウのノ人ヒト

中ナカ ノ 勢セウのノ人ヒト

都ツ鳥トとシてハ 中 ノ 勢セウのノ人ヒト

夕タ浪ナミのノ 中 ノ 勢セウのノ人ヒト







早行  
おぼろげにさしゆくもさしゆくもさしゆくも

舟よ葉作の。此渡りかたなるれり

あそひかまひておぼろげにさしゆくも

何れも向ひの柳のすまひの多くあり

まゐりておぼろげにさしゆくも

あまの天の会はるるもさしゆくも

成り語のさしゆくもさしゆくも

おぼろげにさしゆくも

去年三月十五日志つとも今月も相嘗

ておぼろげにさしゆくも

つり成たもあそひ者ど買ひしり奥入

下りおぼろげにさしゆくも

桜のつらさおぼろげにさしゆくも

さしもさしゆくも

詰



作をばしほり世よの情なき者んを  
此にらあき者との具まゝ路次は捨て  
商人を奥へ下しての志同との名を  
人の此にたぬ者つあやとるま  
有きよみしゆ程よ様とよ痛まてを  
前世のうらもやとひまてた  
ようつよとら既よ事起とみ一付

たてとくくちもあてとて父の事  
もも國もも事てく我の事白行よ  
吾國の行事しし入るはひら  
あてとく父よとて母計とてま  
ひらとてとちと商人の事は  
あてとく父の事とて母計とてま  
ひらとてとちと商人の事は  
あてとく父の事とて母計とてま



柳を植く給れと打あやうに合  
仏四五社とあり終よとせうりく作  
あじあう義ある物語まきくう見や  
せし船中のみもサの都の人もはる  
きあう縁あうい念公と書して  
市場いふよあは長も結よ母の  
ての世うくはあうい男 女が

今日まで可い縁はついでに縁か  
り念公と書してあうい  
是あはあやうと母うのたう  
急してあういり縁も今うも  
あうい縁あういあうい母  
あういあういあういあうい  
あういあういあういあうい  
あういあういあういあうい

甲 乙



ねりあぐの 榊其見の年ハ 十二歳

引まのら名吉 梅あり丸 父のら名吉

田の行鼻 梅ま及らたむら

事ハ 親おとともたつねら

かして母とて事あり思

らあり 親おともたを

とも事あり 理あり其たれ

者結此お相り事あり子あり人  
ともあり是の夢うも意津ま

言語箇越のしりも

よら事とてなへ梅あり

はらへるもきんも甚痛うも作

波人の墓河と見えし

今とてはありた



頼みよころきぬ東よ下りたる  
よ今うの世やあまの給りり  
みささしよらむもせむちや飛し  
まのよんく東のそこの道乃邊  
己のまを夢の草のまをあり  
たる下は結まらむはらり  
く此出と入して今一衣此世の

あまの母よみまを給りや  
ひあまのまのつうたつ函歌  
乃あまのあまのあまの  
ひの花さのちのまの育る  
生れ長史の月乃影さる乃雲  
たまのうのまのまのまの



早稲  
と行くと法敷まゝに申すもいふは

子に當りて入念をばせりてな母と  
は弟に人<sup>カ</sup>まては月とく行成も  
ども更らぬ成念仏の時節あれ  
まゝとせしよ。あやうこそあ  
すし<sup>女</sup>母き<sup>女</sup>母の<sup>女</sup>かあは  
よ念仏とて入申す<sup>女</sup>して<sup>女</sup>が<sup>女</sup>し<sup>女</sup>即

て法者なり<sup>早稲</sup> 引く<sup>早稲</sup>やあより人

にほくま<sup>早稲</sup>ま<sup>早稲</sup>を<sup>早稲</sup>母<sup>早稲</sup>の<sup>早稲</sup>あ<sup>早稲</sup>ら<sup>早稲</sup>ひ<sup>早稲</sup>給

り<sup>早稲</sup>と<sup>早稲</sup>う<sup>早稲</sup>。七<sup>早稲</sup>者<sup>早稲</sup>も<sup>早稲</sup>よ<sup>早稲</sup>う<sup>早稲</sup>ら<sup>早稲</sup>ひ<sup>早稲</sup>給<sup>早稲</sup>す

きれ<sup>女</sup>と<sup>女</sup>あ<sup>女</sup>う<sup>女</sup>と<sup>女</sup>母<sup>女</sup>よ<sup>女</sup>事<sup>女</sup>を<sup>女</sup>い<sup>女</sup>れ<sup>女</sup>神<sup>女</sup>

子<sup>女</sup>れた<sup>女</sup>め<sup>女</sup>と<sup>女</sup>は<sup>女</sup>ま<sup>女</sup>の<sup>女</sup>う<sup>女</sup>と<sup>女</sup>此<sup>女</sup>も<sup>女</sup>身<sup>女</sup>鐘<sup>女</sup>を<sup>女</sup>

と<sup>女</sup>り<sup>女</sup>あ<sup>女</sup>ま<sup>女</sup>す<sup>女</sup> 歎<sup>早稲</sup>ま<sup>早稲</sup>と<sup>早稲</sup>や<sup>早稲</sup>め<sup>早稲</sup>と<sup>早稲</sup>色

ま<sup>女</sup>や<sup>女</sup> 月<sup>女</sup>の<sup>女</sup>成<sup>女</sup>念<sup>女</sup>佛<sup>女</sup>を<sup>女</sup>う<sup>女</sup>ら<sup>女</sup>と<sup>女</sup>も<sup>女</sup>よ



保トス心ハ西ハ一筋ノ南無ヤ西方極樂

世界ニ三十六萬億ノ同号ノ同名ノ阿彌陀佛

佛ト南無ヤ阿彌陀佛南無ヤ阿彌陀佛

南無ヤ阿彌陀佛南無ヤ阿彌陀佛

阿彌陀佛南無ヤ阿彌陀佛

佛ト南無ヤ阿彌陀佛南無ヤ阿彌陀佛

佛ト南無ヤ阿彌陀佛南無ヤ阿彌陀佛

了ル為ス子ノ上ニあハまシあハまシあハまシ南無ヤ阿彌陀佛  
降リ佛ト南無ヤ阿彌陀佛南無ヤ阿彌陀佛  
此ノ會ニ佛ト南無ヤ阿彌陀佛南無ヤ阿彌陀佛

劫ノ中ニあハまシあハまシあハまシ南無ヤ阿彌陀佛

あハまシあハまシあハまシ南無ヤ阿彌陀佛

可ク證ス此ノ方ニあハまシあハまシあハまシ南無ヤ阿彌陀佛

こノ一ノ人トあハまシあハまシあハまシ南無ヤ阿彌陀佛



何れ肉無ありん子南無ヤ阿彌陀佛日  
 絶佛あり行住坐臥とサ色女上のうら  
 たるサまほしき子きれサいサあサらサ  
 物子子子り子女子舞子て子ま子ま子り子  
 日子た子う子ひ子よ子手子よ子て子さ子り子あ子ま子は子又子ま子ま子  
 く子と子成子行子の子ぶ子よ子く子思子ひ子多子ま子り子か子ら子い子ま子ま子  
 面子影子も子ま子り子う子死子か子ら子い子ま子ま子り子ま子ま子り子

何れ肉無ありん子南無ヤ阿彌陀佛日  
 絶佛あり行住坐臥とサ色女上のうら  
 たるサまほしき子きれサいサあサらサ  
 物子子子り子女子舞子て子ま子ま子り子  
 日子た子う子ひ子よ子手子よ子て子さ子り子あ子ま子は子又子ま子ま子  
 く子と子成子行子の子ぶ子よ子く子思子ひ子多子ま子り子か子ら子い子ま子ま子  
 面子影子も子ま子り子う子死子か子ら子い子ま子ま子り子ま子ま子り子



右之本者觀世大夫織部  
章句真本令放行畢

正德六<sup>丙</sup>申歲弥生

天保十一<sup>庚</sup>子歲孟春改正再板

皇都二条通御幸町西江入町

山本長兵衛





明治十七年三月六日翻刻御届  
同年四月十二日別製本御届

翻刻人

京都府平民

寺田熊



下京區第五組麩屋町

錦小路五梅屋町十三番戶

定價四錢



